明治以降の浅間山の主な噴火

西暦	元号	年	噴火による被害状況	備考（文献）
1900	明治	33	1～4月　火災物降下　爆発音大、空振、噴石、降灰広範囲。	
1909		42	12月7日　強く爆発。東京にても家屋振動し、降灰は太平洋岸に及ぶ。山林消失、軽井沢付近窓ガラスの破損多く気絶した人21名。	浅間山爆発史集
1911		44	5月8日　3時過ぎに強く爆発し、溶岩塊を多量に処出す。鳴動は240kmに達し、降灰は南東方相模湾に達す。日の出を見るべく登山した者964人中死者2人、傷者50人。	浅間山爆発史集・国民新聞
1913	大正	2	5月29日　長野原・越後中部に降灰。この爆発により剣ヶ峰にて登山者2人負傷。 7月19日　強く爆発。湯の平観測所付近溶岩塊落下、この爆発により湯の平観測所の窓ガラス破損。 8月12日　湯の平観測所付近落石、降灰は筑波山まで達す。この降灰により養蚕に被害出たもよう。	浅間山爆発史集 浅間山爆発史集・気象要覧
1920		9	12月22日　19時頃大爆発し、火柱天に沖し、全山火をもって包まれる。分去茶屋付近こぶし大、二度上付近二銭貨大の降石あり、前橋付近の降灰22時まで続く。前掛山の森林1／3、沓掛5町歩、軽井沢5町歩、吾妻牧場200町歩を焼失、分去茶屋付近の山林原野数千町歩を延焼。	浅間山爆発史集
1921		10	6月4日　17時6分大爆発。溶岩塊は塩野入口、小浅間中腹まで達し、前橋でも戸障子振動し、破壊せるものあり、降灰は坪97匁に達す。噴煙は3月頃まで続く。	浅間山爆発史集
1928	昭和	3	2月23日　16時45分大音響と共に爆発し、噴煙は東北東に流れ、二度上付近では4～5分間にわたり大なるものは径6，7寸の降石あり（坪当たり4～5個）灰砂礫は坪当たり千升あった。	浅間山爆発史集
1929		4	9月18日　1時9分、大音響と共に爆発し、噴煙は南東に流れる。噴出溶岩は方半里に落下、この爆発により軽井沢追分付近等戸障子の落下挫折、ガラスの破損等がかなりあった。	浅間山爆発史集
1935		10	4月20日　16時21分、大音響にて爆発。藤岡、富岡方面降灰、この爆発により石尊山付近山火事、追分付近ガラス破損あり。活動活発にて噴煙本県側に流れ降灰量多し。	浅間山爆発史集
1936		11	10月17日　9時33分噴火、噴出岩石のため3人の登山者中1人足を折り死亡。	浅間山爆発史集
1938		13	3月25日の爆発以降頻繁に爆発し降灰多し、これにより農作物に被害あり。また、9月26日の爆発により山火事が発生する。	浅間山爆発史集
1947		22	8月14日12時17分、砲声音をたて爆発、山頂付近に噴石落下し登山者11人が死亡、爆風で窓ガラスの破損。また、西側湯の平で山火事がおこる。	浅間山爆発史集
1950		25	9月23日4時37分、大爆音と共に爆発、噴煙は6000mの高さに上り3km以内に火山弾が落下した。噴煙は東南東に流れ、降灰は宇都宮、東京に及んだ。県内では赤城山以南の各地に降灰し、量が多かった。この爆発により登山者1人が死亡、6人が負傷、爆風で軽井沢付近の窓ガラスの破損多く壁の落ちたものあり。	浅間山爆発史集 気象要覧
1958		33	11月10日22時50分、大爆音と共に爆発、噴煙は高度7000mに達し東方に流れた。火山弾は3～4kmとび、風に流されたものは東北東9kmの地点までとんだ。降灰は浅間山と沼田、藤岡の線内であり、遠く太平洋まで続いた。この爆発による爆風でガラスの破損被害は16km²の地点まで及び被害戸数2305戸、ガラス破損28154枚、壁の破損50坪、戸障子の被害25509枚の被害があった。	浅間山爆発史集
1959		34	4月14日20時30分大爆発、噴煙は高度7000mに達し、南東に流れ降灰は東京、横浜にまで達した。火山弾は南側に多く3．6kmに達した。この火山弾により山火事が発生し、国有林61ヘクタールを焼失した。	浅間山爆発史集
1961		36	8月18日14時42分中爆発、噴煙は高度7000mに達して、南東に流れ軽井沢付近も2cmの礫が降った。この爆発物により登山者1人が行方不明、火山礫、砂灰のため農作物に被害。	浅間山爆発史集
1973		48	2月1日19時20分中爆発、暗夜のため噴煙は不明だが、火炎は500mに達した。噴煙は東南東に流れ東側にこぶし大の火山弾、小石等が降り降灰は土浦、銚子に及んだ。この爆発による空振、噴石により千ヶ滝付近の屋根、ガラス等の破損が相当あり。	浅間山爆発史集
1982		57	4月26日2時25分中噴火、長野県及び関東一帯に降灰。小規模の火砕流、農作物に被害あり。 10月2日9時58分微噴火。長野原町で極少量の降灰。	日本活火山総覧第2版
1983		58	4月8日1時59分中爆発、爆発音、空振を伴う。浅間山の周辺には火山礫が降り山腹の一部で山火事が発生した。降灰は長野県、群馬県、関東北部、福島県で観測された。	日本活火山総覧第2版
1990	平成	2	7月20日6時25分微噴火。狭い範囲で微量の降灰。	日本活火山総覧第2版
2003		15	2月6日12時1分微噴火。火口周辺でのみ微量の降灰。 3月30日11時54分微噴火。火口から南東側の山腹にかけて少量の降灰。 4月17日9時24分微噴火。 4月18日7時32分微噴火。	